



令和7年8月15日
都立小金井北高等学校

理数研究部×野外研究部

「森戸海岸磯生物観察実習」

7月26日(土)に神奈川県三浦郡葉山町にある森戸海岸で、磯の生物観察を理数研究部と野外研究部の合同で行いました。今年度は大学で生物学を勉強している卒業生も一緒に参加してもらいました。

目的① 磯に生息する生物の採集・同定・分類を行う。

目的② 潮上帯・潮間帯・潮下帯で生息する生物の違いを観察する。

<実習の様子>



↑ カメノテとクロフジツボ



↑ 夏といえばムラサキウニ
← 海を眺めながらの昼食

<採集した生物の同定と分類結果>

すべてを同定しきれた訳ではありませんが、動物界のほぼすべての門がみつかりました。



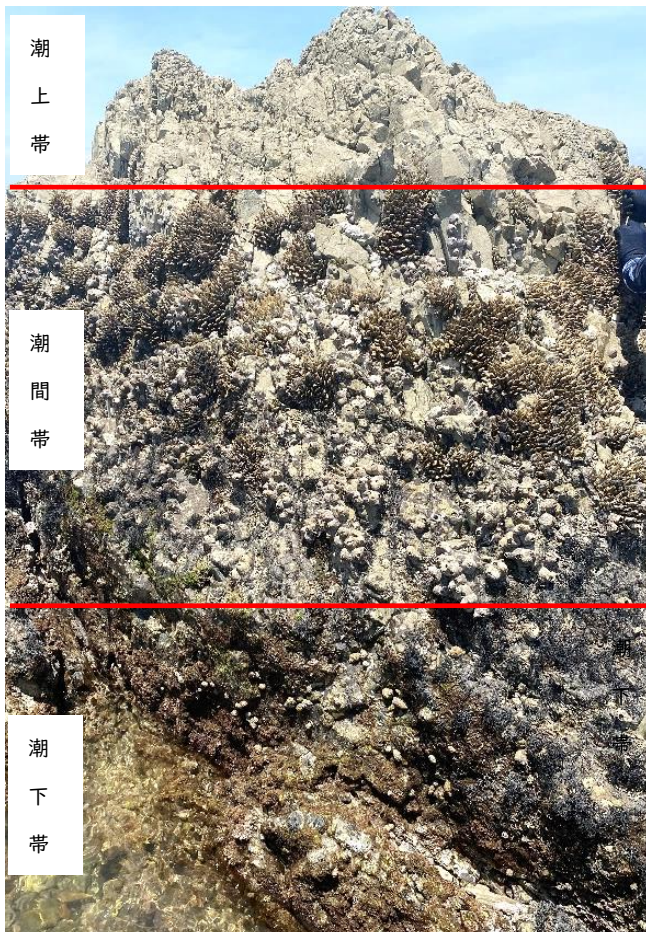
旧口動物

三 胚 葉	節 足 動 物 門
	クロフジツボ、イワフジツボ、イソスジエビ、カメノテ、イソクズガニ、ホンヤドカリ、ケアシホンヤドカリ、イワガニ、イソガニ、イボイワオウギガニ
	軟 体 動 物 門
	ヒザラガイ、ムラサキイガイ、ケガキ、マツバガイ、ウノアシ、トコブシ、パティラ、イシダタミ、ウミニナ、タマキビ、オオヘビガイ、イボニシ、ムカデメリベ、ミノウミウシ、オミエシダカラ
	環 形 動 物 門
二 胚 葉	オトヒメゴカイ、クマドリゴカイ、クマノアシツキ、ヤッコカンザシ、ケヤリムシ、ミズヒキゴカイ
	扁 形 動 物 門
	ヒラムシ
無 胚 葉	刺 胞 動 物 門
	ヨロイソギンチャク、タテジマイソギンチャク、ミズクラゲ
無 胚 葉	海 綿 動 物 門
	ダイダイイソカイメン、ムラサキカイメン

新口動物

脊 椎 動 物 門
クモハゼ、キヌバリ、クサフグ、オヤビツチャ(幼魚)
棘 皮 動 物 門
ムラサキウニ、コンダカウニ、アカウニ、ナマコ、

<磯の生物が多様化した理由をつきとめる>



タマキビ

イワフジツボ

カメノテ

マツバガイ

クロフジツボ

ヒザラガイ

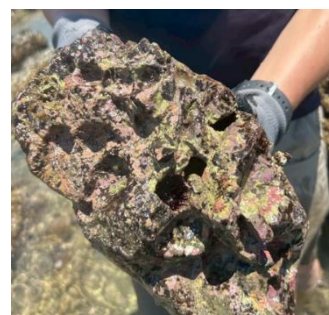
イボニシ

ヒトデ

Q.「なぜ磯では、生物相が豊かなのか。」

それには、いくつかの理由がありそうです。まず、磯では左の写真のように数十 cm 単位で生物相が変化するという事です。陸では、600mくらい標高が変わらないと、そこに生息する生物相はほとんど変化しません。しかし磯では、潮位や潮流により、狭い範囲でも環境の違いが生じるため、それぞれの環境に適応し、多様化したのだと考えられます。他にも理由は考えられると思いますので、是非この夏、磯へ足を運んで五感を使って観察してみてください。

<現場で観察をすることの重要性>



この岩を観察してみると、大きな穴が何個も空いています。これは、ウニが空けた穴なのです。ウニの歯は非常に頑丈で岩をも砕きます。ウニが住処として使った後は、魚やカニなど他の生物の住処として利用され、これも生物相の多様化に一役買っていると考えられます。こういった気づきは、現場で観察しないと得られない学びなのではないでしょうか。(文責:尾方)

して利用され、これも生物相の多様化に一役買っていると考えられます。こういった気づきは、現場で観察しないと得られない学びなのではないでしょうか。(文責:尾方)